

二〇二五年度

広島文教大学一般選抜(前期A日程)問題

国語

〔注意事項〕

- 一、試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 二、本冊子は11ページあります。落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所を見いだした場合は、すみやかに監督者に申し出なさい。
- 三、解答は必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 四、受験票に記載された受験番号を、本冊子と解答用紙の指定欄にはつきりと記入しなさい。
- 五、字数制限の場合は、句読点等の記号も一字と数えます。
- 六、この科目の試験時間は七〇分です。
- 七、本冊子は試験終了後、解答用紙とともに提出しなさい。

受 験 番 号			

〔I〕 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

著作権の都合上、省略。

(出典・船木亨『倫理学原論』)

注 *伊藤仁斎―江戸時代前期の儒学者。 *火宅の喩え―『法華経』の中にある例え話。遊びに夢中で我が家の火事に気付かない子どもを、以前から欲しがっていた三つの車が家の外にあると嘘をついて火事から救ったという。苦しみに満ちて安住できないこの世界(火宅)から、仏が衆生を救うことを例えたもの。 *デカルト―フランス生まれの哲学者。 *ヘーゲル―ドイツの哲学者。

問一 傍線部②③のカタカナは漢字に直し、また漢字は読みを答えよ。

問二 空欄 A 〓 E に入る語の組み合わせとして最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

- | | | | | | |
|---|----------|----------|----------|----------|----------|
| ア | A 〓 そもそも | B 〓 しかし | C 〓 なぜなら | D 〓 あるいは | E 〓 たとえば |
| イ | A 〓 あるいは | B 〓 しかし | C 〓 まずは | D 〓 そもそも | E 〓 たとえば |
| ウ | A 〓 そもそも | B 〓 なぜなら | C 〓 ところが | D 〓 あるいは | E 〓 つまり |
| エ | A 〓 あるいは | B 〓 たとえば | C 〓 まずは | D 〓 つまり | E 〓 そもそも |
| オ | A 〓 あるいは | B 〓 けれども | C 〓 つまり | D 〓 そして | E 〓 なぜなら |

問三 傍線部①「そうした会話姿勢を一掃すること」とあるが、これは何をどのようにすることであるか、指示語の内容を明らかにしつつ、五〇字以内で説明せよ。

問四 傍線部②「それ自身が言説（おしゃべり）における倫理的な行為である」とあるが、その理由を述べた文として最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア 「善くないよ」という表現は、「相手が傷つく」とか、「自分が損する」とか、「他人に嫌われる」などといったことを含意し、そのひとのしたことの倫理を問わないでおくことであるから。

イ 「善くないよ」という表現は、「倫理に反するよ」という表現よりも堅苦しくないので、相手により柔らかい印象を与えるという点において、ふだんのおしゃべりによりふさわしいものであるから。

ウ 「善くないよ」という表現には、「相手が傷つく」とか、「自分が損する」とか、「他人に嫌われる」など、厳しい意味が込められているため、相手の過ちを正すのにより適切であると言えるから。

エ 「倫理」という言葉の意味はひとによって受け止め方が異なるため、ふだんのおしゃべりの中で「倫理に反するよ」と言われても、強いショックを覚えることはあまりないと考えられるから。

オ 「倫理」という言葉の意味はひとによって受け止め方が異なるため、「善くないよ」という表現の方が、相手の言動にひそむ倫理的な問題点をより明確に指摘することができると考えられるから。

問五 本文の内容に合致する文として最も適当なものを、次のア～オの中から選び、記号で答えよ。

ア 高等学校等で学ぶ「倫理」という教科書には古今東西の思想が紹介されているがいずれも古臭く、また教育の現場における因習的な「教育倫理」に妨げられて、「倫理学」とは呼べない状況である。

イ 「倫理」という語は世間一般で使われる語であり、その背景には「倫理学」という学問的な裏付けがあるため、日常生活の中で私たちが直面する倫理的な課題への対処の仕方を教えてくれる。

ウ 西欧において「真実」とは神の前で事実として語られるべきものであるが、日本においては、仏教の教えの影響

響によつて倫理的な緩やかさがあり、自分に都合が良ければ多少の嘘は許されるという文化的伝統がある。

エ 日本においては古来、「倫理」とは法律と一体のものであり、曖昧な目標としての精神の訓示と、正規の手続きや罰則ある禁止という意味での掟とによる明確な構成を持つものとして理解されてきた。

オ 日常的によく用いられる「倫理」という語には規範という意味が強いが、それは「倫理」が団体や組織や社会の人々に共通して保持されるべき姿勢や態度や感性に反するひとを懲罰する規準とされてきたからである。

〔II〕 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

「^①祭過ぎぬれば、後の葵あひひ不用なり」とて、ある人の、御簾なるを皆取らせ^②られはべり^③しが、色もなく覚えはべりしを、よき人のしたまふ事ことなれば、さるべきにやと思ひしかど、^{*}周防の内侍が、

かくれどもかひなき物はもろともにみすの葵の^④かれ葉なり^⑤けり

と詠めるも、母屋の御簾に葵のかかり^⑥たる枯葉を詠めるよし、家の集に書けり。古き歌の詞書ことばがきに、「枯れたる葵にさして遣はしける」ともはべり。枕草子にも、「来しかた恋しき物、枯れたる葵」と書けるこそ、いみじくなつかしう思ひ寄りたれ。^③鴨長明が^{*}四季物語にも、「玉だれに後の葵はとまりけり」とぞ書ける。おのれと枯るるだにこそあるを、名残なく、いかが取り捨つべき。

御帳みちやうにかかれる^{*}薬玉も、九月九日、菊に取り換へらると言へば、^①菖蒲さうぶは菊の折までもあるべきにこそ。^{*}枇杷びはの皇太后くわうたいこう宮みやかくれたまひて後、古き御帳の内に、菖蒲・薬玉などの枯れたるがはべりけるを見て、「折ならぬ根をなほぞかけつる」と^{*}弁めのとの乳母の言へる返事に、「あやめの草はありながら」とも、^{*}江侍がうじじゆう従が詠みしぞかし。

（出典・『徒然草』）

注 *周防の内侍—平仲子。歌人。 *四季物語—鴨長明の著作といわれているが、未詳。 *薬玉—香料を包み、菖蒲

などの花や造花をつけて五色の糸をたらす。五月五日の端午たんごの節句に用いる。 *枇杷の皇太后宮—藤原道長の娘、妍

子。 *弁の乳母—藤原順時の娘。歌人。 *江侍従—大江匡衡と赤染衛門の娘。歌人。

問一 傍線部①～⑥の助動詞の文法的意味を、次のア～クから選び、記号で答えよ。

ア 過去

イ 存続

ウ 断定

エ 自発

オ 受身

カ 尊敬

キ 使役

ク 詠嘆

問二 傍線部①「祭過ぎぬれば、後の葵不用なり」とあるが、これに対する筆者の考えを最も端的に表している一文を本文中より探し、その始めの五字を答えよ。

問三 傍線部②「かれ葉」の「かれ」には、「枯れ」の他にどのような語が掛けられているか、次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 借れ

イ 彼

ウ 刈れ

エ 狩れ

オ 離れ

問四 傍線部③「鴨長明」の著作を次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 土佐日記

イ 方丈記

ウ 堤中納言物語

エ 沙石集

オ 宇治拾遺物語

問五 傍線部④「菖蒲は菊の折までもあるべきにこそ」とあるが、ここに込められた筆者の考えとして最も適当なものを、次のア～オから選び、記号で答えよ。

ア 五月五日の薬玉の菖蒲は、すぐに片付けるのではなく、九月九日の菊の節句の時に取り替えるまで、そのままあるべきものである。

イ 五月五日の薬玉の菖蒲は、九月九日の節句の時に菊の代わりに用いるものだから、たとえ枯れてしまってもそのままにしておくべきであろう。

ウ 五月五日の薬玉の菖蒲は、枯れたままにしておく季節外れで風情がないので、九月九日の菊の節句まで残しておくべきではないであろう。

エ 五月五日の薬玉の菖蒲は、菊にまさるほどの風情があるので、九月九日の節句の時を待って、枯れずに残っていてくれないだろうか。

オ 五月五日の薬玉の菖蒲は、九月九日の菊の節句の時まで枯らさないように気を配りながら、大切に掛けておくのがよいであろうよ。